



求名っ子

さつま町立求名小学校
令和4年度 第1号
令和4年4月18日発行

校区に響くあいさつ・心を拓く読書活動・伝統をつなぐ鷹踊り



がんばれ 求名っ子！

校長 河内 恵里子



暖かな春の日差しがなによりうれしい季節になりました。わくわくするような躍動を感じる「春色」の空気に包まれて、28名の児童と教職員13名での令和4年度がスタートしました。6日に行われた入学式では、3人のかわいい1年生が誕生しました。保護者や地域の皆様、御来賓の皆様に祝福されて、元気に登校し勉強しています。

始業式では、新年度のスタートにあたって、「1学期のゴール（目標）をしっかりと決めて、そのゴールを見て頑張らしましょう。」と話しました。それぞれが、その目標に向かって頑張る子であってほしいです。また、『病は気から』というので病気やけが、弱い自分に負けない強い気持ちをもって頑張らしましょう。」と話しました。目指せ欠席0！全員登校日120日を目指します。身も心もたくましく育ってほしいと思います。

本年度も職員一同、心をついて、「強く、明るく、すべてのことを一生懸命にやりとげる子どもの育成」を教育目標に掲げ、「強く、明るく、やりとげる求名の子」を育むために、次のような点に力を入れていきます。

- ① 個に応じた学習指導法を工夫改善しながら、どの子もよく分かる授業をめざし確かな学力を身に付けさせます。
- ② 読書活動や体験活動を推進し、豊かな感性と勤労の心を育てます。
- ③ なわとび運動を中心に子どもたちの健康の保持増進を図りながら、たくましい気力・体力・行動力を育てます。

本年度も、本校の教育に対する御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。



※ 令和4年度の求名小学校の状況です。

【児童数】

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ひまわり	たけのこ	合 計
男子	1	1	2	1	1	4	(1)	(1)	10
女子	2	2	1	5	4	4	(1)	0	18
合計	3	3	3	6	5	8	(2)	(1)	28

【学校職員】

担 任 等	氏 名	担 任 等	氏 名
校 長	河 内 恵里子	※ 児童支援	松 本 喜 弘
教 頭	鈴 木 敦	養 護 教 諭	上 西 めぐみ
1・2年担任	奥 森 道 子	事 務 職 員	白 川 誠 一
3・4年担任	大 迫 利 恵	学 校 用 務 員	水 流 昇
5・6年担任	祝 悟 司	学 校 図 書 事 務 員	上 大 迫 つるよ
ひまわり担任	西 野 和 子	特 別 支 援 教 育 支 援 員	井 上 富美子
たけのこ担任	古 川 順 子		

【学校医の先生方】

内科医	益崎 隆雄 先生
眼科医	山下 徹治 先生
耳鼻咽喉科	鈴木 晴博 先生
歯科医	川越 佳昭 先生
薬剤師	櫛山 章治 先生

※ 「児童支援」の教諭は、主に人権同和教育推進を担い、児童の学習指導・生徒指導・進路指導等の支援をします。

【転入職員】

教 頭	鈴 木 敦	南さつま市立万世中学校より
教 諭	大 迫 利 恵	日置市立妙円寺小学校より
学校図書事務員	上 大 迫 つるよ	さつま町立鶴田小学校より

4 / 6 令和4年度 スタートしました。



入学式は、たくさんの美しい花に飾られた会場で、1年生の元気な返事に、参加した全員が笑顔になれる素晴らしいものとなりました。今年度は3名の子どもたちが仲間入りし、児童数28名での求名小学校スタートとなりました。勉強に運動に給食に、みんなで楽しみながら取り組んでいきます。



職員も3名参りました。これからよろしくお願いいたします。



鈴木 敦
(すずきあつし) 教頭

好きな食べ物

ラーメン

好きな番組

鉄腕DASH!

好きな本

『みえるとかみえないとか』(ヨシタケシンスケ)

求名っ子の気持ちのいいあいさつに、毎日元気をもらっています。負けずにがんばっていきますので、よろしくお願いします。



大迫 利恵
(おおさこりえ) 先生

好きな食べ物

カルボナーラ

好きなテレビ

ドラマ

好きなキャラクター

ミッフィー

学級のため、学校のために自ら進んで行動できる子どもたちの姿に感心しています。そんな素敵な子どもたちと共に、私もがんばります。



上大迫 つるよ
(かみおおさこつるよ) 先生

好きなこと

旅行

(コロナ禍で行けていないですが)

好きな果物

マスクメロン

好きなテレビ

韓国ドラマ

早く子どもたちの顔と名前を覚えて求名小に慣れるようにがんばりたいと思います。よろしくお願いします。

「命」の学習

既に高齢だったウサギのクリームが亡くなってしまいました。その事実が信じられなくて何度もウサギ小屋に足を運ぶ子どもがいたり、残されたショコラを心配して様子を見にくる子どもがいたり、子どもたちに様々な思いを残してくれました。また、二階ろうかの外にあるひさしには、今年もツバメが巣をつくっていました。こちらは新たな命のたんじょうが期待できそうです。思わぬところで「命」の学習となっています。



「あいさつこだま運動」 御協力ありがとうございました。

今年度も「春のあいさつこだま運動」から新年度のスタートとなりました。新しい学年になり、期待と不安でいっぱいに登校する子どもたちに、たくさんの声かけをしていただきました。町交差点や求名小通用門などで、地域の方や保護者の方に安全確認もしながら、あいさつの声を響かせていただきました。ありがとうございました。

心の真ん中に置いてある言葉：「水は山おかげ 人は世間おかげ」

昨年度も紹介しましたが、今年度も「水は山おかげ 人は世間おかげ」の心を持ち続けます。この諺の意味は「私たちの町や村を流れる水は、上流の山や谷の立木によって水の量や速さがうまく調整されています。そのおかげで、絶えることのない豊かな流れになるのです。人間の生活もこれと同じであり、人は社会の中で他人のいろいろな力を借りて初めて生活ができるのです。私たちはあの人から知恵を、この人から力をと多くの人のおかげで生かされています。」です。相手の立場に立って考え、行動することが大切です。常日頃から周りの人たちに感謝の気持ちを忘れず、協力し合って生活していきたいと願っています。よろしくお願いいたします。